



広報 ごじょうめ

発行／五城目町役場

編集／文書広報課

☎ 0188 (52) 2100 (代)

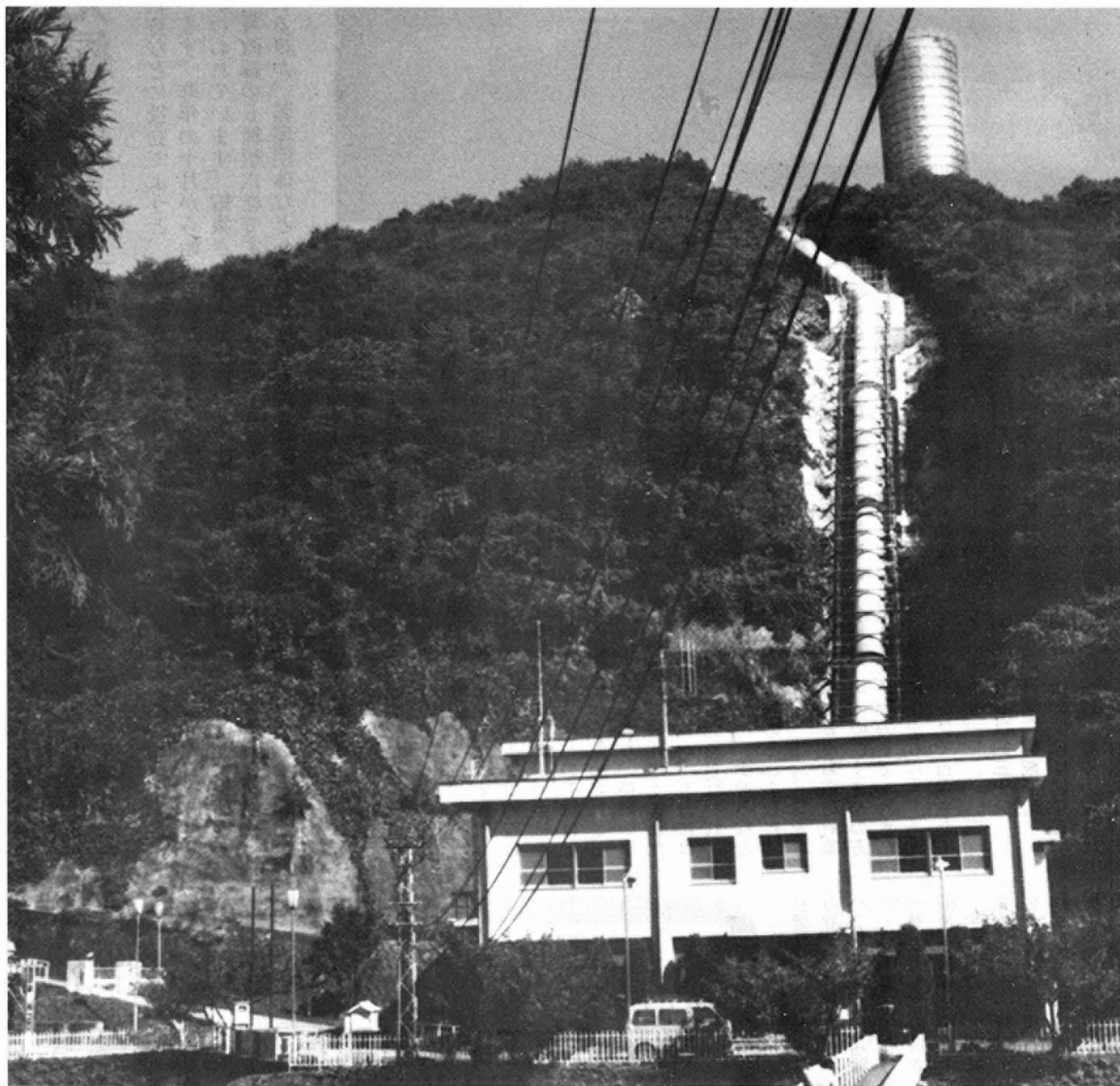
印刷／五城目印刷

ゴミの分別収集に協力を

燃えるゴミ
燃えないゴミ
分別は完全に



発電所背後の山頂には銀色の調圧水槽がそびえ立つ



(広報紙中にある「真を欲しい方には」
おあげします)

昭和59年

12月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 506

ふるさと散歩

杉沢発電所

杉沢発電所は、七番目の県営発電所として、昭和四十一年に完成しました。

発電方法はダム水路式。約一三〇メートルの高さから内径二・七メートルの管の中を、一秒間に十四トンの水が落下し、発電機のタービンを回します。この水は、萩形ダムからトンネルで導かれます。四・三キロ以上にも及ぶトンネルを水圧から守るため、発電所背後の山頂には、高さ四六メートルの調圧水槽がそびえています。

最大発電力は、一万五千五百キロワットで、県内十一カ所の県営発電所の中では、鎧畑発電所に次ぐ能力を持っています。しかし、鎧畑発電所は二台の発電機で発電しており、一台当たりの発電力において、杉沢発電所が県内最大。この電力は東北電力(株)を通じて、郡内をはじめ県内外に送電されています。

町のビデオを製作中 観光編など五種類六巻

町では観光宣伝や学校教育などに役立てようと、町の産業や文化などを収録したビデオづくりを進めています。昨年の十月から始められた撮影はほぼ終了し、現在、テープの編集作業が行われています。編集されるテープは、観光編、四季編、産業編、歴史文化編、行政編の五種類六巻です。完成したテープは、町の紹介、町政の推進に活用されるほか、各種団体などへの貸し出しも行う計画です。



真崎堰頭首工をビデオに収める

テレビとデッキがあれば、どこでも映写できるビデオ情報の伝達方法がテレビ化するに伴い、町の広報活動も「読む広報」から「見る広報」「聞く広報」に変わりつつあります。こうした社会の動きを考え、観光宣伝や学校教育、社会教育に効果的に利用でき、テレビとビデオデッキがあれば、どこでも映写できるビデオの製作に取り組んだものです。

また、ビデオを通して町内のみなさんに、町行政をより理解していただくことも目的にしていますので、会議や研修会などの席で映写するほか、各種団体などへの貸し出しも考えています。

さらにビデオは、動く映像と実際の音で収録されますので、歴史的資料としての価値も高いものです。製作費は五十八年度と五十九年度の二カ年で二百三十万円となっています。

カメラ店のグループが中心になって製作を進めるビデオの製作は、町内のカメラ店のグループが中心となつて進められ、また昨年の十月には記録ビデオ製作委員会も結成されました。

構成メンバーは編集委員十人、協力委員十人。役場職員のほかビデオ会社の専門家や町内のカメラ店の人、学校の音楽の先生も委員に委嘱され、町政全般、町内全域にわたって取材が行われました。

また、二カ月に一回の割合で編集会議が開かれ、取材対象や方法を検討しながら撮影計画がたてられました。

一年以上にわたって撮影二十分テープで約百本撮影はビデオの専門会社が担当し、昨年十月の五城目上小阿仁駅伝から始められました。四季おりおりの情景や施設、行事など一年以上にわたって収録したほか、五月には飛行機からの撮影も行われ、町内の山々、川、街並みなどがテープに収められました。

また、鍛冶、建具、菓子など町内の職人さんも取材対象となり、町内のたくさんの方が、撮影に協力してくれました。撮影に使用したテープは、二十分のテープで百本ちかくにもなります。

一巻の長さは約三十分一月末に完成予定

現在、撮影はほぼ終了し、テープの整理、編集の段階に入っています。台本に従って

必要なテープを選びだし、組み立て、ナレーション(説明)、バックミュージック(音楽)、スパー(字幕)を入れる作業で、一巻のテープの長さは三十分前後を目安に編集されます。産業編のテープはこのほど完成し、十一月二十八日に開かれた編集会議で試写が行われました。観光、四季、産業、歴史文化、行政編の五種類六巻(四季編は二巻)が全部そ

ろうのは、来年の一月末になる予定です。

また、現在市販されているVHS用テープとベータ用テープに編集されますので、ビデオデッキの機種に関係なく、映写できます。

町では町内のみなさんにも気軽に利用していただくため、貸し出し方法を検討するなど、有効的な活用を図ることにしています。

製造事業所の皆さんへ

昭和59年工業統計調査 石油消費構造統計調査

ご協力
ください



通商産業省では、工業統計調査と石油消費構造統計調査を、十二月三十一日現在で行います。調査の対象となった事業所には、年末年始にかけて調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。調査の内容は統計以外の目的には使われません。

町内の統計調査員は次の方たちです。(敬称略、順不同)

伊藤則子(東磯ノ目町)
大石良雄(上山内)
斉藤健蔵(畑町)
佐藤貞(古川町)
村上秋子(古川町)
工藤卓美(下樋口)
佐藤与志美(中村)

52-4141番はテレホンサービス

電話で町からお知らせ

1月1日スタート!

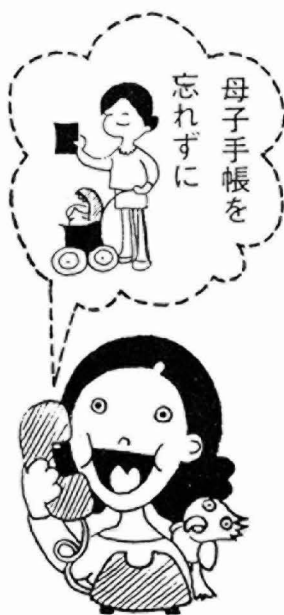
役場からの「お知らせ」ご案内」などをスムーズにスピーディにお伝えする「テレホンサービス」が、来年の一月一日からスタートします。

また、スキー場の積雪や雀館運動公園施設の利用状況、催し物などもお伝えします。で、五城目町の観光案内として、町外の人にも利用していただくものです。

本格的なサービス業務は、昭和六十年(四月一日)から行う予定です。一月一日から三ヶ月間はテスト稼働で、電話回線は二回線です。

テスト期間中に、町内のみ皆さんの利用状況や意見、要望などを調査し、より多くの方に利用してもらえようように改善するとともに、回線の増設も検討することになっています。

- ① 毎日の催し物、行事の案内
- ② 各種のお知らせ(健康診断、乳児検診など)
- ③ 緊急、災害情報(火災関係を除く)
- ④ 暮らしの情報
- ⑤ レクリエーションの情報
- ⑥ 町の観光案内(祭り、市日、スキー場、催し物など)
- ⑦ 交通情報
- ⑧ 町の議会で決まったこと
- ⑨ 町長の声、町民の声



赤い羽根の標語

町内から二人が入選

県共同募金会が募集した「小中学校児童生徒のたすけあい標語」に、小玉直子さんと佐々木和歌子さんの作品が入選しました。

▽小学校の部優良賞
富津内小学校三年

小玉 直子

しあわせを

のせてはこぼう愛の羽根

▽中学校の部佳作

杉沢中学校二年

佐々木和歌子
幸せを大きく広げる

赤い羽根

五城目町商工会

優良従業員を表彰

五城目町商工会主催の第二十三回商工業優良従業員表彰式が、十一月二十七日、グリーンロイヤル丸富で行われました。表彰されたみなさんは

次のとおりです。

▽商業関係

小林秀美(秋田中央交通)

長谷川義孝(同)

松橋啓子(長源デパート)

伊藤京子(同)

中村司(五城目信用金庫)

小玉昭子(丸富)

菊地覚(伊藤鐘商店)

▽工業等関係

柳原喜俊(柳原製綿所)

谷地慎蔵(加賀谷木材)

西井キミエ(同)

工藤光雄(尾形鉄工所)

斉藤要悦(菊地酒造店)

沢田石マツエ(宮田木材)

山田利市(加賀谷石材工業)

鳥井鷹雄(菊地製材所)

原田富雄(同)

鈴木礼子(宮盛木材化工)

石川陽子(同)

斉藤己克(同)

高津昌(越高建設)

小熊繁雄(伊藤製材所)

武田伝蔵(大晴土建)

栗山ヒデ子(イトマン)

伊藤セツ子(同)

小玉いわ子(同)

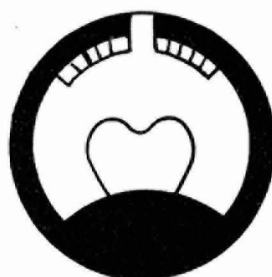
猿田源三郎(南秋土建)

小熊広治(五城目木材)

歯の健康シリーズ

No.18

歯みがきの習慣 ①



(シンボルマーク
馬場目小三年
金野 学
応募作品から)

食べたあみがくを原則に食事が終わったら、その都度みがきます。ちょっとつまみ食いしたときも、原則ですからみがかなければいけません。

盲点は飲み物を飲んだあとで、みがかない人が大勢います。また、ほんの少ししか食べないから、みがなくてもいいだろうと思っている人もいますが、細菌にとってはたっぷり原料が運び込まれたことになりま

歯をみがく習慣がつくとつまみ食いをしなくなりま

す。いまみがいたのに、またみがくのは面倒になるからです。そして、おやつ

の時間や量を自分で規制するようにになります。しかし、習慣になるまでは、せっかくのおいしい味をすぐみがくのは、もったいないと残念がっています。

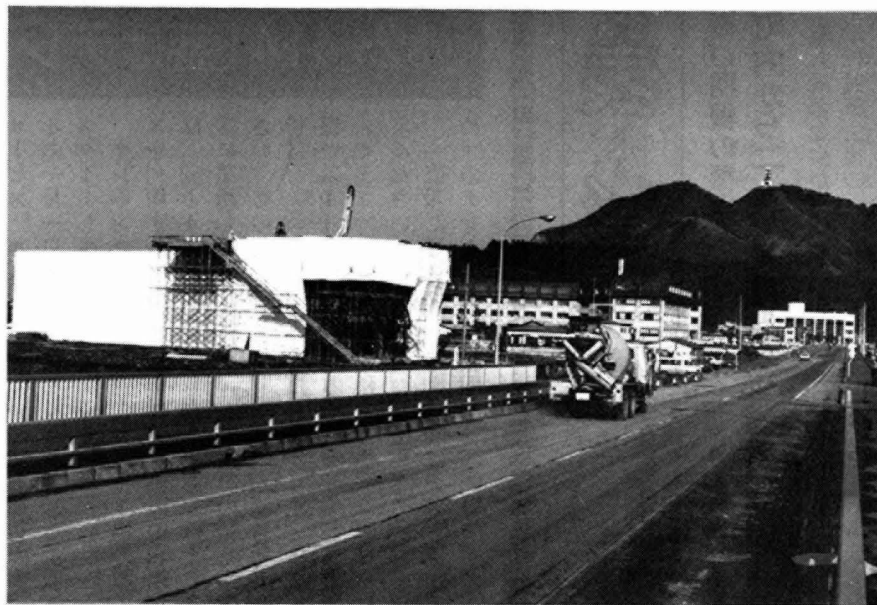
会食や出先でみがけないときは、次の機会に取り返します。一日に一回しかみがけないときは、時間をかけてしっかりとみがきます。

これは、やってみると意外に大変です。掃除の極意は汚したらすぐきれいに、汚れをためないことです。歯みがきも同じで、その都度きれいにするのが一番です。

昼食後は会社でも周囲の人の目が、最初は気になるかもしれませんが、しかし、続けていると同調者が現れます。恥ずかしいので、みがけなかった人がいるからです。二人になり三人になれば、みがかないでいる人が、肩身を狭くしはじめます。

親と子の健康な歯づくり運動推進委員会養護部会

三月完成の共同福祉施設 磯ノ目大橋そばに建設



国道バイパスわきに建設中の共同福祉施設

共同福祉施設の建設工事が西磯ノ目町のバイパス沿いの磯ノ目大橋そばで行われています。

この建物は、鉄筋コンクリート二階建、延床面積は六五九平方メートル。中小企業で働く従業員の福祉増進や、雇用管理の近代化を図ることなどを目的として、労働省所管の雇用促進事業団と町が合同で建築するもの。事業費は雇用促進事業団八千九百六十万円、町八百万円。

町では、町内中小企業従業員や商工会主催の会議、研修その他各種グループ活動、町内会活動にも、積極的に利用していただくことにしています。

また、建物一階に設けられる展示ホールには、町の伝統工芸品、木材製品、地酒など各種工場の製品を展示し即売も行うことにしています。さらに、従業員や児童生徒の絵画、書道、川柳、短歌などの作品を展示し、文化活動に活用するほか、各種個展の開催にも役立てたいとしています。現在、一、二階の床組みと

外壁工事を終え、屋根の取り付け作業が進められており、三月には完成する予定です。

五城目郵便局を放送

1月23日・26日の教育テレビ

NHK教育テレビの「はたらくひとたち」が「五城目郵便局の様子や局員のみなさんが登場します」。

放送日は、一月二十三日午前九時三十分から四十五分までと、一月二十六日午前九時四十五分から十時まで。

この放送は、小学二年生の社会科番組で、あて先のはつきりしない手紙が町内の家庭に配達されるまでを撮影したものです。番組は一部と二部にわかれており、五城目郵便局は二部に登場します。

「はたらくひとたち」は、全部で八回放送されます。放送日は、一月九日、十二日、十六日、十九日、二十三日、二十六日、三十日、二月二日。放送時間は水曜日が午前九時三十分から、土曜日が午前九時四十五分からそれぞれ十五分間となっています。

・対象地域：恋地、坊井地、杉沢、合地

▽富津内保育所

・募集対象：昭和五十四年四月二日～五十六年四月一日生まれ（四～五歳児）

・対象地域：上山内、下山内、富田を除く富津内地区

馬場目・杉沢・富津内 保育児を募集します

月二日～五十六年四月一日生まれ（四～五歳児）

▽杉沢保育所

・募集対象：昭和五十四年四月二日～五十六年四月一日

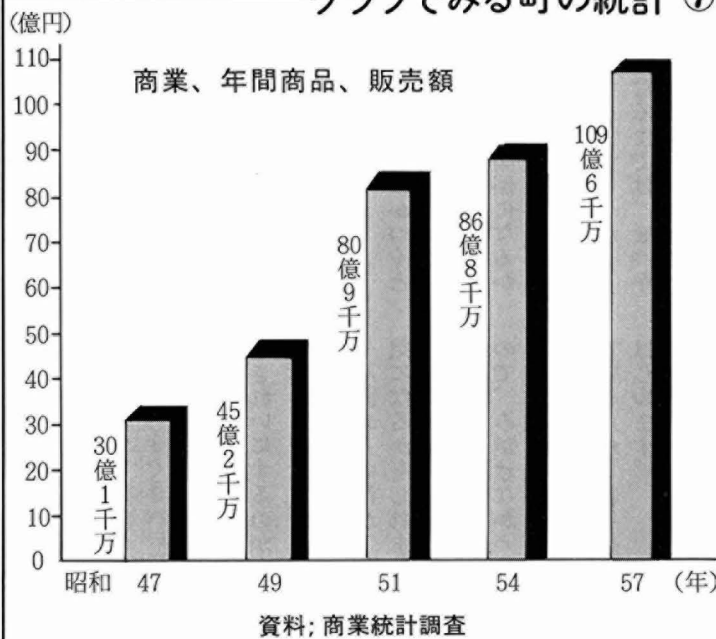
生まれ（三～五歳児）

・対象地域：帝釈寺から水沢までの馬場目地区

▽馬場目保育所

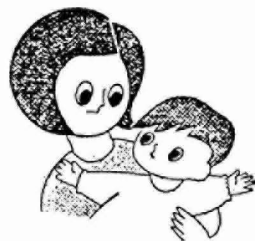
馬場目、杉沢、富津内の各保育所で、昭和六十年度の保育児を募集します。入所申請書の受け付けは、一月二十二日と二十三日、役場住民課と各保育所で行います。

グラフでみる町の統計 ⑦



スパイクタイヤの使用は できるだけ控えてください

雪道にはスパイクタイヤを使用しますが、このスパイクタイヤは道路をすりへらし、それによって粉じんを発生させるなど、大きな社会問題となっています。生活環境を守るため、積雪凍結道路以外では、スパイクタイヤの使用をできるだけ控えてください。これからは雪が積ったり、とけたりと道路の状態は一定ではありません。また、積雪凍結道路ではすべり止めタイヤの装着などが義務づけられています。このように、スパイクタイヤの使用については、いろいろと矛盾する諸問題を含んでおり、県では使用規制というのではなく、あくまでも使用自粛というかたちで、ドライバーのみなさんに協力をお願いしています。



お誕生
おめでとう
ごやいます

一番町 力 志保子 長男
小浜舞子 11月8日
孝養 千代子 三女
菅生亜紀 11月10日
古川町 勇 ゆきみ 長女
小松康平 11月10日
曙町 淳 圭子 長男
目黒孝雄 11月17日
新里町 育夫 薫 長男

おくやみ

申し上げます

(数字は年齢)

岡本 一ノ関力 10月15日 長男
浅見内 栄 みつ子 10月16日 長男
孝男 妙子 10月16日 長女
池内公己 10月19日 長男
利典 恵美子 二男
朝野正敬 10月19日 長男
正春 琴子 10月21日 長男
矢場崎 近野歩美 10月21日 長女
一男 厚子 10月22日 長女
塚本 透 10月22日 長男
啓治 貞子 10月23日 長男
猿田真由 10月23日 長女
総一 啓子 10月26日 長女
今村史子 10月26日 長女
恒夫 由美子 二女
長沢圭晃 10月28日 長男
康 寿満子 長男
廣幡智康 11月2日 長男

9月
22日 椎名カチ 61 富田
24日 一関喜一郎 58 久保
24日 山口清一 52 築地町
25日 武田スミ 75 高崎
26日 渡部純之助 76 仲町
27日 畑沢正作 53 湯ノ又
29日 伊藤キエ 56 落合
10月
1日 内藤勝太郎 72 矢場崎
3日 小玉カネヨ 76 高崎
5日 齊藤忠治 54 門前
7日 加藤清蔵 66 雀館
10日 畠山ヤス 91 岡本
12日 北嶋政治 74 岡本
18日 草皆ナミ 69 帝釈寺

役場

年末年始の休み28日午後から
窓口業務は31日まで行います

役場は、十二月二十八日の午後から一月三日まで、年末年始の休みになります。が、住民課と税務課の窓口業務(各種証明書の発行など)については、次のように三十一日まで行います。
▽二十八日(金) 平常どおり
▽二十九日(土) 正午まで
▽三十日(日) 休み

町の人口と世帯

12月1日現在

人口 15,773 人 (-17)
(男) 7,542 人 (-4)
(女) 8,231 人 (-13)
世帯 3,953 世帯 (+4)

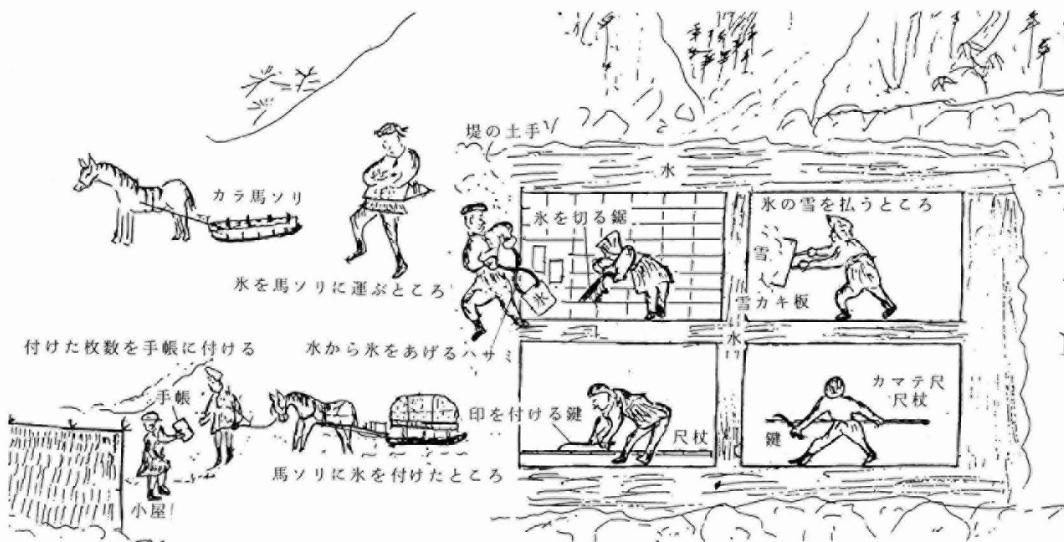
※()内は前月との比較

11月
1日 久保市勝雄 48 古川町
2日 畠山徳之助 77 昭辰町
2日 伊藤トメ 89 広ケ野
5日 嶋崎ナサ 80 一番町
11日 仁村銀之助 81 田町
13日 小玉マツエ 79 八田
14日 福田トミエ 84 小池町
15日 佐藤榮子 54 谷地中

我が村の落書

畠山 鶴松

大正の頃 五城目町の氷取り



その頃は今のようには、サイダー、ジュースなどの飲物はなく、まれにラムネが見られる位で、夏になるとほとんど氷に頼るもので、氷水は良く売れたものだ。
当時御蔵町の小浜又兵衛さんは、下山内用水堤、古比屋沢堤を氷取場にし、毎年千三百枚程切取った。氷には、飲用水と雑用水があり、雑用水は雪まじりでも厚いと良いが、飲用水は水だけ凍らせるように手入れが大変であった。
氷を育てるため、人が渡れるようにになると、一枚から四百枚くらい切取れる氷の島を作り、いつでも水に浮かんでいるように、雪が付かないようにした。雪水が付いたときは、金のヘラで丁寧に雪を払い、朝二時頃起きて降った雪を払い投げ、雪の重さで氷が沈まないようにした。
氷を造るには、藁沓(わらぐつ)や、草鞋(ぞうり)など、履物は絶対不潔なものを使わないようにきびしく注意した。
寒明になると水が温んで氷が育たないため、また氷を永くもたせるため、寒三十日には終るよう氷切りが始まった。
切った氷は、氷鉄で水から引揚げ、一枚十二貫目もあったので、馬糞(そり)につけるにもよいでなかった。
日中天氣の良いときは、氷切りも休むため、朝の二時頃から作業をするものであった。一台に氷を十三、四枚つけたが、運搬の途中で馬糞からはずれると、全部つけないおしたり大変であった。

カメラレポート



3月末まで寄宿舎生活

——杉沢小中学校の生徒4人——

合地地区から杉沢小、中学校に通っている生徒4人が、12月1日から寄宿舎に泊まりながら勉強に励んでいます。親元を離れての寄宿舎生活は3月末の終業式まで続きます。

常任舎監の佐藤先生と給食の金沢さんが父親、母親がわり。生徒たちは「学校も近いし、御飯もおいしいのでとても楽しい」と元気に話していました。また、土曜日の午後には家に帰るそうです。

この寄宿舎は、冬期間、通学が困難になるため、その不便を解消しようと昭和53年1月に同校地内に建設したもので、寝室2部屋のほか浴室、図書室、食堂などが完備されています。



好評だった小野教授の講演

巧みな話術に場内爆笑

——文化経済懇話会で小野氏講演——

7回目の文化経済懇話会は12月6日午後2時半から役場正庁で開かれ、東京学芸大学教授の小野三嗣氏が「あすの健康をひらく…生活と健康」と題して講演しました。

会場には婦人会員など約150人が集まり、小野氏の巧みな話術に場内はたびたび爆笑、参加者からは「興味を持って聴くことができた」「健康についての考え方を改めさせられた」と好評でした。

医師でもある小野氏は「自分の体、健康は自分自身で管理するもの」と力説。論旨は医師としての数々の体験、研究に裏づけられており、説得力がありました。



寄宿舎家族の6人です

お知らせ



綱引き競技の講習会

どなたでも受講できます

町の教育委員会では、町内のみなさんに「綱引き」の競技規則や競技方法を知っていただくため、「綱引き競技講習会」を開きます。

受講を希望する方は、当日会場にお集まりください。受講は無料です。

▽日時

十二月二十一日(金)

午後六時半～八時

▽会場 広域体育館

▽講師

秋田県綱引連盟公認審判員

し尿の汲み取り

早目に申し込みを

年末のし尿汲み取りは、次の予定となっています。

汲み取りの必要がある家庭は早目に業者に申し込んでください。

なお、仕事開始は一月七日になっています。

▽農村部 十二月二十日まで

▽町部 十二月二十五日まで

▽汲み取り業者

・五城目衛生舎(工藤)

52-3867

・南秋衛生(菅生)
52-4063

予約しなかった方にも
県民手帳を販売

昭和六十年用の県民手帳を予約注文されなかった方にも販売しています。

秋田県民手帳は、たて四センチ、ヨコ八・五センチで日記、便覧、歳時記、資料編などから成っています。一部三百円。

ご希望の方は、役場売店または役場三階庶務課でお求めください。

持ち主不明の自転車を
五城目警察署で展示

五城目警察署では、十二月二十日から二十二日まで、警察署の駐車場に、持ち主不明の自転車を展示します。盗難にあうなどお心あたりの方は、ぜひおいでください。

温水プール
29日から3日まで休館

屋内温水プールは、十二月二十九日から一月三日まで年末年始のため休館となります。一月四日からは平常どおり。

森山地区
新春将棋大会

▽日時 一月三日

午前十時

▽会場 公民館森山分館

▽会費 千円

60年 1月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

		曜 日
新里町、今一町、榑口、	7日・10日・14日・17日 21日・24日・28日・31日	月・木
広ヶ野、御蔵町、古川町、		
希望ヶ丘、小池町、紀久栄町、		
田町、川原町、館町、中川原		
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、	4日・8日・11日・18日 22日・25日・29日	火・金
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区~4区)		
大川(1区~4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	5日・9日・12日・16日 19日・23日・26日・30日	水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、今一町、榑口、	12日・第2土	26日・第4土
広ヶ野、御蔵町、古川町、		
希望ヶ丘、小池町、紀久栄町、	11日・第2金	25日・第4金
田町、川原町、館町、中川原、		
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町	10日・第2木	24日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区~4区)	9日・第2水	23日・第4水
大川(1区~4区以外の地区)、森山地区、馬川地区	8日・第2火	22日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	14日・第2月	28日・第4月

注 意 ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・乾電池は、粗大ごみの時収集しますので混同しないでください。
五城目町清掃センター TEL 52-9904
※ 12月29日から1月3日まで年末、年始のため休業します。

川にゴミを捨てないで 不法投棄は処罰されます

川にゴミを捨てる人がおり、川がたいへん汚れています。川にゴミを捨てないでください。
町では、町内会ごとに「もえるゴミ」を週二回、「もえないゴミ」を月二回収集していますので、ゴミはこのときに処分するようにお願いします。
馬場目川の水は、本町だけ

生活排水、産業排水など川が汚れる原因はいろいろあり、今すぐ解決できないことも確かですが、ゴミの不法投棄は論外です。川にゴミを捨てるのはモラルの問題で、私たちは一人ひとりの心掛けですぐに



解決できます。もちろん、川にゴミを捨てると法律で処罰されます。
川の水がゴミを流し去ってくれるなどという考えは改めてください。ゴミは川岸にひっかかったり、川底にたい積したりして、川の水を汚すだけでなく、自然そのものを汚しているのです。
川は「ゴミ捨て場」ではありません。馬場目川の水がたくさんの人たちの飲料水になっていることを、今一度考えてみてください。



第三回水泳記録会 町内選手が大会新12

第三回水泳記録会(主催、五城目町水泳協会)が十二月二日、屋内温水プールで行われました。

大会には、今年四月に結成された五城目一中水泳部や五城目小、杉沢小をはじめ、町外からも秋田アスレティッククラブ、大曲小、能代二中などが参加、二百七十人近い選手がタイムを競い、五十八の大会新記録が出ました。
町関係者の成績は次のとおりです。(太字は大会新記録)

〔男子〕		〔女子〕	
▽小学低学年二五M自由形	2分51秒1	▽小学低学年二五M自由形	3分28秒2
①伊藤純子(五一中)		▽同四〇〇Mメドレーリレー	6分1秒0
▽小学低学年二五M平泳ぎ	2分51秒1	①五一中Aチーム	6分1秒0
②伊藤一仁(富小)	21秒3	▽同四〇〇Mメドレーリレー	6分24秒2
▽同五〇〇M自由形		③五一中Bチーム	6分24秒2
②久保市 豪(五小)	47秒1	▽同四〇〇Mメドレーリレー	6分24秒2
▽中学校二〇〇M自由形		①伊藤純子(五一中)	1分14秒1
②伊藤雄心(五一中)	2分52秒7	③村上芳子(五一中)	1分20秒5
▽小学低学年二五M平泳ぎ	2分52秒7		
①伊藤一仁(富小)	29秒5		
②松橋 洋(五小)	30秒0		
▽小学高学年五〇M平泳ぎ			
①畠山 徹(富小)	40秒5		
▽同一〇〇M平泳ぎ			
②畠山徹(富小)	1分30秒7		
▽小学低学年二五M背泳ぎ			
②一関雅暁(五小)	25秒1		
③伊藤 進(五小)	29秒7		
▽小学高学年五〇M背泳ぎ			
①伊藤誠晃(富小)	37秒9		
③石川悦広(杉小)	46秒2		
▽同一〇〇M背泳ぎ			
①伊藤誠晃(富小)	1分21秒1		
▽小学校五〇Mバタフライ			
③伊藤友徳(富小)	43秒2		
▽同二〇〇M個人メドレー			
①伊藤友徳(富小)	3分27秒6		
▽同二〇〇Mメドレーリレー			
②富小Aチーム	2分39秒4		
▽同二〇〇Mフリーリレー			
②富小Aチーム	2分25秒3		
▽小学低学年二五M自由形			
①館岡真衣子(五小)	21秒8		
③伊藤さくら(富小)	23秒0		
▽中学校一〇〇M自由形			
①伊藤純子(五一中)	1分14秒1		
③村上芳子(五一中)	1分20秒5		
▽同二〇〇M自由形			
①伊藤純子(五一中)	2分51秒1		
▽小学低学年二五M平泳ぎ	2分51秒1		
①館岡真衣子(五小)	28秒1		
②伊藤郁子(五小)	30秒4		
③佐々木恵(杉小)	32秒7		
▽小学高学年五〇M平泳ぎ			
②伊藤綾子(富小)	46秒4		
▽中学校一〇〇M平泳ぎ			
②池田真理子(五一中)	1分35秒4		
③菅生千晴(五一中)	1分45秒6		
▽同二〇〇M平泳ぎ			
②池田真理子(五一中)	3分29秒6		
▽小学高学年五〇M背泳ぎ			
①佐々木直子(杉小)	43秒8		
▽同一〇〇M背泳ぎ			
①佐々木直子(杉小)	1分37秒2		
▽中学校一〇〇M背泳ぎ			
①一関みどり(五一中)	1分31秒1		
▽同二〇〇M背泳ぎ			
①一関みどり(五一中)	3分13秒5		
②内藤美紀子(五一中)	3分20秒6		
▽同二〇〇M個人メドレー			
②藤島明美(五一中)	3分26秒5		
③内藤純子(五一中)			
▽同四〇〇Mメドレーリレー	3分28秒2		
①五一中Aチーム	6分1秒0		
③五一中Bチーム	6分24秒2		
▽同四〇〇Mメドレーリレー	6分24秒2		
①五一中Aチーム	5分23秒1		
②五一中Bチーム	5分47秒0		

五城目町文学作品 詩部門優秀作品

入選

一人で歩いていこう

石井トモ子（町村）

一人で歩いていこう
一人では歩いていこう
リハビリにいたころ
どんなに一人で
歩きたかっただろう

歩きたかっただろう

今日もいこう歩くために

また次の日もいこう歩くために

そして私は歩けるようになった

右の足がマヒしながらも

私は歩けるようになったのだ

私はまだ

身体障害者であることを

認めていなかった

歩けばはずかしかった

人にみられるのがはずかしかった

はじめの自分がはずかしかった

歩けるようになって

子供たちをみていけば

それでいいと思った時

やっと心が晴ればれとした

それを先生に告げた日

先生は安心の顔をした

そして力強くはげましてくれた

先生に手伝ってもらって

字を書く練習

たまには料理の練習もした

サイフもこしらえた

だけど家へ帰れば

先生にたよることは出来ない

それに右半身がたまらなくいたい

料理も裁縫もうまく出来ない

何度泣いたかわからない
でも一人で歩いていこう
ころんではおき
ころんではおき
まるで雑草のように
一人で歩いていこう

入選

構図その2

山口 邦三（館町）

しずかに時がくみかえていく

私達の家の中の構図は

めだたない筆致で

巧妙な手ぐせである

窓にはめこんだ風景は

季節が構図をしなおすように

どこからか筆がおろされ

こっそり筆がはこばれていく

いつとはなしになくなってゆく

家具のように

古びた図形が持ちさられ

なじまぬ什器の不協和音は

たのみせぬ変形をおしつけられる

新しい溶解は画面をはみだし

ゆがんだ浸蝕は図形をはみだし

楢山節考のおどろしい唄が

その時

構図が大きくゆれている

姥捨山の稜線を

とびかう鴉のああああと

私の老残をあざわらう

構図のゆれを急変する

絵具は厚みをかえて

のぞみと悔いが重なりあい

とりかえしのつかぬ図形と

妥協と復讐をくりかえす

作品評

（選者）小野 一二

文学の原点

石井トモ子「一人で歩いていこう」

「う」は、病気を克服して歩きはじめた新生の詩である。私は深い感動のうちに読んだ。そこには、詩の技法を超えたものがある。魂の底から吹きあげてくる叫び、どうしても訴えずにはいられないものがあって、詩は生まれるであろう。そこに文学の原点がある。私はこの作品に、その原点をみた思いがした。

しかし、これを詩の題材として

みるならば、一度きりのもので、

作者はさらに自身の心を探り、新たな体験を探る努力をする必要がある。詩は心でうたうものであると同時に、ことばで表現するものである。いたずらな描写や説明は、詩では不用である。そうしたことを考えて、これから作品を書いてほしい。

山口邦三「構図その2」は、詩

を知りつくした「詩人」の作品である。さすがである。しかし、それだけにあまりにその心象風景が、詩作品の構図そのものになっては

スーパールのみなさん

毎日ご苦労さまです

五城目保育園の園児たちが、十一月二十二日、五城目農協前で、農協スーパールのみなさんに「毎日ご苦労さまです」と花束を贈りました。

この催しは、十一月二十三日の「勤労感謝の日」にちなんで、働く人たちに感謝しようという行われたものです。一日早く勤労感謝の日のプレゼントを贈られたスーパールのみなさんは、園児たちに終始笑顔でこたえていました。



園児から花束を受ける女子職員

町内の話題